

高山植物と雄国山

K・H

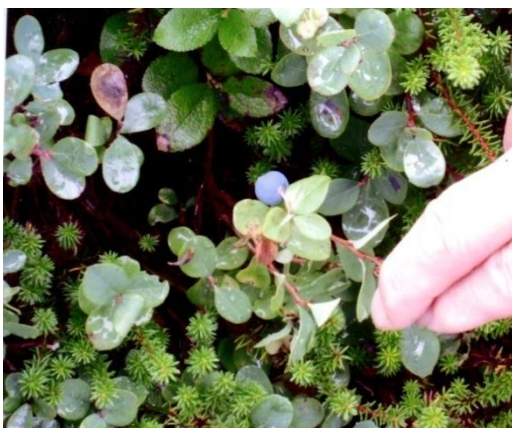
私が、林間学校へ行って学んだことはすごたくさんあります。その中でも印象に残っている物はたくさんの高山植物の性質や種類です。あと、雄国山から撮った絶景等も印象的でした。

私は、自然体験学習で主に高山植物や高山生物について調べていました。最初は【水芭蕉】を調べていたのですが、水芭蕉は6~8月の夏頃に咲く花だと知って私が福島県へ行く時期の植物について調べるようになりました。なので、一日目には高山植物が沢山見られる、浄土平のコースに、二日目には高山植物や動物などいろいろな物が見られる磐梯山のコースにしました。

一日目に行ったコースの浄土平では、六種類くらいの高山植物がありました。



上の写真は【シロタマのキ】という実で、シップの臭いがして、手につけるとスースーしました。



下の写真は【ガンコウラン】という実で、皆がよく知っているブルーベリーの元の形なのだそうです!!食べられるらしいですが普通のブルーベリーよりも苦く、酸っぱいそうです。この実を見て私は、ブルーベリーが苦手だったので少し挑戦してみようかな♪、と思いました。

他にも、【エゾオヤマリンドウ】や【イワカガミ】など不思議でおもしろい高山植物がたくさんありました。

次に私たちは、山を見ました。その中でも一つだけモクモクと煙を出している山がありました。その山の名前は、【一切山】といい、その名前の理由は昔あるものによって噴火してしまった山をその村の人が一切の物をすべて放り出し、命がけで山の噴火を止めた、という言い伝えがあり、この名前になったそうです。この山に近づくと、煙の中にガスのような有害な物質が入っていて大量に吸うと人間は死んでしまうのだそうです。それを聞いて私はとても驚いたし、やっぱり自然には危険なことがたくさんあるな、と思いました。

一日目ではその山、その植物すべてに名前が付いていて、その名前は適当につけられたものではなく、それぞれとても面白い意味をもった名前だなぁ、と知りました。山登りのとき以外にも、自然を見つける時間がたくさんありました。ホテルの庭のようなところに、我孫子市では見られない花があり、バイキングでは普段、食べた事のないような草がたくさん入ったサラダなどがたくさんありました。

この一日目では、たくさんの植物を観察し見たりすることができました。今まで私が調べてきた高山植物や高山生物などがたくさん見られてすごく嬉しかった一日でした。

二日目には、「磐梯山頂上を目指そう!」というコーステーマだったのですが、天候の関係で、雄国山という山に行くことになりました。最初は、磐梯山に登る事をすごく楽しみにしていたので、コース変更を聞いた時はとてもショックでしたが、雄国山に登り始めると、その考えは吹き飛びました。雄国山は、たくさんの木々があり、千年も生きてきた杉の木などがありました。あと、とても普段は見られない、「蛇の抜け殻」も見ました。思っていたよりも薄くて、びっくりしました。

雄国山の休憩地で休憩した後、上りのルートから外れて湿原を見に行きました。ここでは、土地の水分の量がとても多くて、水に強い植物しか生えてこないと知りました。

中には私達もよく知っている【ススキ】もありました。何年か前は人々がそのまま土地を踏んでいたのが、全然何も生えてこなかったそうです。

湿原で少しゆっくりしてからまた、休憩地へ戻って来て、お昼ご飯を食べました。休憩地からの景色はすごく綺麗で、絵を見ている気分でした。(写真右)



次は、雄国山の頂上を目指しました。頂上への道のりは、思っていたよりも凄く大変で、

足の裏が痛くなったけれどしりとりなどをしながら一生懸命歩きました。

頂上間近の所で、私の身長の3分の2くらいある、大きい花を見つけました。その大きさは伝えきれないくらい大きかったので植物ってすごいなー◇と改めて思いました。

それから30分くらい歩いてやっと頂上に着きました。雲が自分達のすぐ下にあったので達成感がすごくありました。それに、自分たちのいた下に雲があったのでこんなに自分たちは登ってきたのだな……！という気持ちでいっぱいでした。雄国山から少し左に見た所に磐梯山が見えました。磐梯山はとても厚い雲におおわれていて今にも雨が降りそうな状態だったので、私は登ってなくて良かったな、と思いました。雄国山の周りは、沼と山しかなかったけれど、本当に綺麗でした。(写真右)



2日目に学んだ事は、湿原は水分が多い所だった事、雄国山にはたくさんの自然があった事です。2日目の夜にはキャンプファイヤーをして、布佐中2学年の友情を深める事が出来ました。出し物ではもめてしまったり、喧嘩をしてしまったりしたクラスもあったけれどそれはそれで良い思い出です。富吉さんの話では、今回の震災で嫌な思いをしたのは被災者だけではなく、被災者の家族や、被災地に住んでいた人なども辛い思いをしたのだな、という事が分かりました。さらに今回の震災を通して家族の大切さや大事さが分ったのだと語ってくれました。

3日目では、ウォークラリーをやりました。房総の村でのウォークラリーは凄く楽しかったので、ウォークラリーをとっても楽しみにしていました。でも、不安の方が大きかったです。なぜなら、私たちの班の班長がある事情で林間学校に来られなくなってしまったからです。最初は会話もなく歩いていたけれど、だんだんと会話が弾み、協力して進むことが出来ました！結果は途中回収でしたが、班の皆とも協力して、楽しいウォークラリーにする事が出来ました。ウォークラリーの途中で声をかけて下さった人や、大きいナメクジなどを見ることが出来たし、山の大きさを実感する事が出来ました。

3日目の千葉へ帰る途中に寄った、世界のビール館では窓の外から見える景色がすごく綺麗で、福島県の自然はすごいなあ、と思いました。自分がこういう体験をできたのも、たくさんの自然を学べたのも、全て福島県の人々のおかげだと思っています。

東日本大震災という、思い出したくない事があったのにも関わらず、笑顔で迎えてくださった福島県休暇村ホテルの皆さん、そして、2日目のキャンプファイヤーの時、一生懸命震災の話をして私達に家族の大切さ、普通に生活している事がどのくらいありがたい事なのかを伝えて下さった富吉さん、私達の為にいろいろな自然から守って下さったり、いろいろな自然の知識を教えて下さった、ネイチャーガイドの皆さん、そして福島県に行くという事を許してくれた保護者の人達に心から感謝したいです。

林間学校の行き先を変えないという知らせが来たときは本当に安全なのだろうか?と思っていました。でも、いざ行ってみるといろんな人が支えてくれて、危険なことから守ってくれていて、心配していた自分が馬鹿に思えてきました。

最後に、この林間学校へ行って私たちがやらなくてはならない事、それは福島県や福島県の自然が危なくないという事を、林間学校に福島県へ行った中学生として皆に伝える事だと思います。そして私が大人になっても、この大好きな福島県の大自然が無くならない事を祈っています。